

2月に入り、寒い日が続いております。先日も三島市に霏や雪が舞い、富士山や箱根に雪が降り積もりました。

さて学校では、保護者の方々にもご協力願った学校評価の生徒、保護者、教員のアンケート調査によって、令和元年度1年間の教育課程の成果と課題をまとめております。それを元に、2月には令和2年度の教育課程を策定して参ります。「不易流行」の考えに立ち、学校教育目標に迫れるように努力を続けていきたいと考えております。また本校は、三島市教育委員会より本年度、来年度と指定研究を受け「キャリア教育」の推進に取り組んでおります。

「キャリア教育」と一言と言っても、いったいどのような力を伸ばしていくのか? 「キャリア教育」は、基礎的・汎用的能力伸ばしていくことが明示されています。その基礎的・汎用的能力には4つの要素があります。それは「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解形成・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」です。錦田中での取り組みにご理解とご協力をお願い致します。

1 入学試験を想定した面接練習 (3年生)

1月24日(金)、3年生の生徒が2月4、5日の私立の入学試験、3月4、5日の公立試験に向けて面接練習を行いました。3年生の全生徒が7つのグループに分かれて、それぞれのグループに3人の教員がついて面接練習を行いました。生徒たちは、「服装は大丈夫か?」「高校の志願理由をしっかりとと言えるか?」「自分の良さを、限られた時間の中で伝えることができるか?」等、面接練習に真剣に取り組んでいました。多くの生徒が先生方の指導やアドバイスに耳を傾け、その後も教室で友だち同士で練習を繰り返している姿が見られました。今週から始まる入試で、練習してきた面接がうまくできることを祈っています。



2 進路選択に向けた高校説明会 (2年生)



1月27日(月)、2年生が進路選択に向けて高校説明会を実施しました。今回は、2年生の生徒のアンケートによって、私立高校1校(日大三島高校)、公立実業高校1校(田方農業高校)、公立普通高校(葦山高校)に来校いただきました。高校からは、それぞれの学校の特徴や歴史、進学状況等を含めた説明がありました。生徒たちは「地域には、どんな高校があるのか?それぞれの高校の特徴は何か?自分の長所を伸ばせるか?自分の夢を叶えるためには、どんな進路選択をしたら良いか?」などを学びました。

これは、「キャリア教育」の中の「自己理解形成・自己管理能力(自分にはどんな高校が合っているのか?)」及び「キャリアプランニング能力(夢に向かって、どのように計画していくのか?)」の育成につながることでと考えます。

3 職業講話のガイダンス (1年生)

1月23日(木)、1年生が総合的な学習の時間を使って職業講話のガイダンスを行いました。本校では1年生を対象に、2月21日(金)に職業講話を予定しています。これは、地域学校協働本部(学校支援地域本部)の方々が地域の職業人に声をかけていただき、15名の講師が来校し職業講話をしていただきます。建築士、保育士、研究者、スポーツ選手、アナウンサー、救急救命士、報道関係、薬剤師、野菜栽培等、多くの方々の話を聞ける良い機会であると思います。

このような機会を通じて「将来どんな職業に就きたいか?将来どんな生き方をしたいか?そのためには、どんなことを大切にして、今どんなことに努力すべきか?」ということを学んでいきます。

地域学校協働本部の方々、本当にありがとうございます。



4 入学説明会が行われました。



1月31日(金)、令和2年度に入学を予定している生徒と保護者を対象に入学説明会が行われました。令和2年度の新1年生は、今のところ131名で4クラスの予定です。当日は生徒会長の鈴木つぐみさんからの「学校紹介」、三島市サポートセンターから「SNSについて」、生徒指導主事の山村先生から「学校での生活について」、教務主任の杉山先生から「教育課程について」の話がありました。その後、入学予定の生徒は教室に移動して、上級生と一緒に錦田中で実施している集団づくりの「ピア・サポート活動」を通じて交流を行いました。4月には職員一同、元気な姿で入学してくることを心待ちにしています。

5 令和2年度から錦田中学校でコミュニティ・スクールが開始されます。

1月27日(月)、学校評議員の高橋 徹司様、清家 順様、杉本 貴子様、杉山 勉様の4名をお招きして、学校評議員会と学校評価委員会を行いました。これは、学校評価アンケートの結果から本年度の学校経営・運営にご意見をいただき、来年度の学校経営・運営に活かしていく目的で行われる会です。

当日は1年生5クラスの道徳の授業を参観していただき、学校での生徒の様子や地域での生徒の様子を話し合いました。また、学校評価アンケートの結果を、前年度のアンケート結果とを比較しながらご意見をいただきました。「学校が楽しい」と感じている生徒が多いこと、進路意識をもっている生徒が多いこと、図書室の利用が低下していること、毎日家庭学習を行っている生徒数が下がったことが指摘されました。また地域では、「最近、生徒にあいさつをすると、しっかりとあいさつが返ってくるようになった。」とのお褒めの言葉をいただきました。また、授業の様子も「落ち着いて授業に取り組んでいる姿が見られる。」という意見が出されました。来年度は、更に良い点を伸ばし、足りない点を補っていけるようにしたいと思います。

来年度より、三島市小中学校21校の中から小学校1校、中学校1校で「コミュニティ・スクール」を実施していくことが示されました。その中学校1校に指名されたのが、錦田中学校です。そこで、地域学校協働本部と学校評議員会で学校運営協議会を設置し、「コミュニティ・スクール」が開始されます。これは、学校と地域住人等が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。ぜひ、地域全体でご支援、ご協力をお願い致します。